



TITLE:

震災地豊岡ニ於ケル余等ノ診療記事

AUTHOR(S):

伊藤, 肇; 塚原, 仲光; 由茅, 二五四; 都谷, 枝万次郎

CITATION:

伊藤, 肇 ...[et al]. 震災地豊岡ニ於ケル余等ノ診療記事. 日本外科宝函
1925, 2(4): 662-665

ISSUE DATE:

1925

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/193170>

RIGHT:

臨 床

震災地豊岡ニ於ケル余等ノ診療記事

伊 藤 肇
塚 原 仲 光
由 芽 二一五四
都 谷 枝万次郎

余等京都帝國大學救護班一行十三名ハ大正十四年五月廿四日午後八時過ギ餘燼猶消エヤラヌ豊岡ニ到リ、幸ニシテ倒壊ヲ免カレシ公立豊岡病院ノ一部ヲ院長松浦博士ノ好意ニ依リ借用、翌廿五日ヨリ卅日夜迄診療ニ従事シタ。ソノ間取扱ツタ患者ハ巡廻診療ノモノモ加ヘテ百十餘名ヲ數フルガ、ソノ中デ病院ニ於テ診療シタ七十六名ニ就キ觀察ヲ試ミヤウト思フ。此ノ期間中他ノ救護班カラ入院加療ノ必要ガアルト思ハル、患者ハ總テ送ツテ貰ツタノデアルカラ、此ノ七十六名ノ内ニハ此ノ度ノ震災ニ因ル豊岡一圓ノ重症患者ハ漏レナク含マレテ居ル筈デアリ、從ツテ最モ參考トナルベキ記録ト信ズル。

右ハ男四十一名女三十五名ヨリナリ、之ヲ診斷ニヨリ大別スルト次ノ如クニナル。

一、震災ヲ直接原因トスルモノ

一個所ニ骨折アルモノ、男 七名、女 二名。

二個所ニ骨折アルモノ、男 〇名、女 二名。

右側上搏切斷後、

脱臼後、

挫傷、

挫創、

挫傷及ビ火傷アルモノ、

傳染性刺傷、

發狂

計

男 〇名、女 一名。

男 一名、女 一名。

男 一七名、女 八名。

男 五名、女 七名。

男 一名、女 〇名。

男 七名、女 二名。

男 一名、女 〇名。

男 三九名、女 三三名。

二、震災ヲ間接原因トスルモノ。

過勞

男 一名、女 〇名。

肛門周圍糜爛(自轉車ニ過乘ノ爲)男 一名、女 〇名。

下顎淋巴腺炎、

男 〇名、女 一名。

急性腹膜炎、

男 〇名、女 一名。

計

男 二名、女 二名。

右ニ依レバ最モ多數ヲ占ムルモノハ骨折、挫傷及ビ挫創ノ三ツデアル。

先ヅ骨折ニ就イテ觀ル。頭蓋骨底骨折及ビ第八、第九胸椎骨折各一例ヲ除イタ殘リハ總テ四肢ノ骨折デアル。即チ四肢以外ヲ壓セラレタモノハソノ場デ斃レタモノト想ハレル。亦著シク目立ツコトハ女ノ患者ガ男ノ倍モ多數ナコトデアル。之ハ晝前ノ地震デ女ノ屋内ニ居ツタモノ多ク、且ツ避難ノ動作ガ女ハ男ノヤウニ敏活ニユカヌコトヲ示シテ居ル。四肢ノ骨折ヲ細別スルト單純骨折ニ上膊骨二、橈骨一、桡骨及ビ尺骨一、大腿骨五、並ビニ腓骨三ヲ數ヘ、複雑骨折ニ上

搏骨二、橈骨及ヒ尺骨一並ビニ脛骨及ヒ腓骨六ヲ數フ。猶上膊切斷後トシテ舉ゲテアルモノモ複雑骨折ガアツタモノトシテ差支ナカラウ。厚イ軟部組織ニ保護サレテ居ル大腿骨ガ單純骨折ノミ起シ、皮下ニスグ骨ノアル下腿ニ複雑骨折ヲ多ク來シタノハ自明ノコトデアル。

挫傷ニ就イテハ部位ハイロ／＼デアツタガ最モ興味ノアツタモノハ肝臟内出血ノ一例デアル。三十六歳ノ女デ右側季肋部カラ胸一カケテ材木デ打ツタガ二日目ノ朝急ニ右側季肋部ニ激痛ヲ覺エ惡心ヲ伴フニ至ツタト云フ。診ルト右側乳線ヨリ正中線ノ間、肝臟ガ球狀ニ腫脹シ、ソノ下方ハ臍ノ二横指右方迄達シ、表面ハ平滑、硬度ハ何處モ一樣ニ弾力性軟デ壓痛ヲ訴ヘタ。腹腔内ニ液ノ瀦溜ナク、脈搏ノ狀態モヨカッタノデ、單ニ安靜ヲ命ジテオイタガ、自覺症狀ハ一日ト緩解シ、余等ノ歸ル頃ニハ殆ド平生ト同様ニナツタ、ガ然シ肝臟腫脹ハ依然トシテ存在シテ居ツタ。軟カイ肝臟ノヤウナ臓器内ニ、破裂ヲ來スコトナクコノ如キ血腫ガ出來ルト云フコトハ想像シ難イコトデアルガ、此ノ例ハ左様デアルト理解スルヨリ他ニ仕方ガナイ。二日目ニナツテ始メテ痛ノ始マツタノハ、血腫ガ段々大クナツテ附近ノ組織ガ引付ケラレタ爲ト想ハレル。

創ハアルモノハ殆ド總テ化膿シ、ソレモ瓦斯產生ヲ伴フ蜂窩織炎ヲ起シタモノガ多カッタ。余等ノ處置シタ骨折患者ノ内上膊ヨリ二名及ビ下腿ヨリ一名終ニ切斷スルノ止ムナキニ至ツタ。亦負傷後直チニ應急手當ヲ受ケ縫合サレテ居ツタモノモ皆縫合糸ヲ除キ開放の處置ニ變更シナケレバナラナカッタ。上膊デ切斷サレテ來タモノモ猛烈ナ瓦斯蜂窩織炎ヲ起シタ。アノヤウナ混雜ノ際ニ多數ノモノハ、應救處置ヲスルニハ縫合ヲセズニ總テ開放的ニ而シテ無菌的デナシニ凡テヲ消毒藥的ニ取扱フベキデアルト云フコトヲ痛切ニ感ジサセラレタ。殊ニ甚シカッタノハ後頭部ノ瓣狀創ノ縫合糸ヲ除イタラ中カラ小イ木片ガ澤山出テ來タ一例ガアツタ。震災直後ノ創ノ中ヲ一々改メル暇ノナイ程混雜シテ居ル様ガ眼ニ見ヘルヤウデハナイカ。

震災ヲ間接ノ原因トスルモノ、内、下顎淋巴腺炎ハ屋外ニ起居シ風邪ノ爲腫脹シタノデアツタシ、急性腹膜炎ハ震災三

日前ヨリ急性盲腸炎ヲ疾ンデ居ッタノガ養生ヲサスコトガ出来ズ遂ニ突發増惡シタモノデアル。後者ハ十一歳ノ女兒デアッタガ、廿七日收容シタ時ハ手術ニ堪エ得ザル状態トナツテ居リ、ソノ夜死ノ轉歸ヲトツタ。

東京ノ震災ノ時ハ骨折ガ少ク、火傷ガ多カッタト云フコトデアッタガ、今度ハ火傷ハ殆ド見當ラナカッタ。ソシテ骨折ガ割合ニ多カッタノハ、地震カラ火ノ燃エ出シタ迄二三時間モ暇ガアツテ、充分重症者ヲ助ケ出ス餘裕ガアリ、且ツ大都會ト異ナリ、火ヲ逃レルコトガ容易デアッタコトヲ物語ツテ居ル。